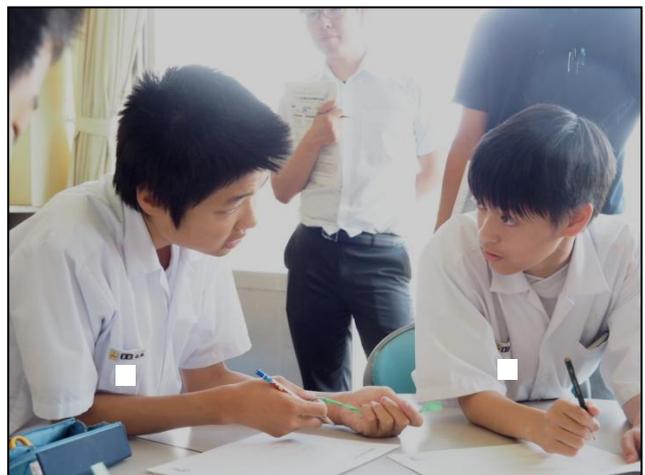


| | | | |
|---|-----------|---------|--------------------|
| 授業者 | 古畑優太 加藤景子 | 日時・指導学級 | 6月22日(金) 6時間目 7・8組 |
| 教科 | 学活 | 単元 | 作ろう幸せのエベレスト |
| 【授業の目標】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけうれしいのではなく、級友もうれしい気持ちになることが大切だと実感し、今後の生活に生かそうとすることができる。 | | | |
| 【授業の工夫】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・級友の気持ちを知るため、インタビュー活動をする。 ・級友のためにできることをカードに書き、「幸せのエベレスト」という掲示物をクラスみんなで作り上げる。 | | | |
| 【授業の様子・生徒の変容】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする場面では、お互いに気持ちを伝えることができた。さらに、話の内容をメモする姿も見られた。 ・授業の最初では、「テストで100点とれるとうれしい」という自分ができてうれしい気持ちを述べていた生徒も、最後には「絵が上手だね(とほめてあげると相手がうれしい)」といったように、級友のことを考えた発言が見られるようになった。 | | | |
| 【教師の振り返り】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士がお互いにインタビューをして、相手の気持ちに意識をもてたことがよかった。さらに、「幸せのエベレスト」を作ったことで、今後に生かすことを目で見て確認できるようになった。 ・生徒たちは、みんなのことを考えた意見をたくさんもつことができた。その意見を取り上げてクラス全体に広げる支援をする必要があった。 | | | |



「給食当番を手伝ってあげる」
「家庭科の皿洗いを手伝ってあげる」
といった意見も出ていました。

家の仕事のお手伝いを、さらにやってくれるようになると、うれしいですね。